

晴れやかに
成人の日を
迎えて

平成20年川根本町成人式



故郷に錦を飾るより、故郷を錦で織り成す人となってほしい

杉山嘉英川根本町長

本日、成人式を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

川根本町の次の世代を担う皆さんが心身ともに健やかに成長され、成人となられたことを心からお祝い申し上げます。また、皆さんをこのように立派に育てあげられましたご家族をはじめ、周囲の方々に深く敬意を表します。

私たちが暮らす川根地域は、南アルプスの前衛の山々、大井川とその周辺に広がる里山や茶畑など、豊かな自然環境や美しい景色に恵まれています。

また、山村は、人間が長期にわたって積み重ねてきた叡智をもって自然の恵みを活かす場であり、茶づくりや森づくりなど、個人の知恵や技能を存分に発揮することができる場でもあります。

本町の将来像は、「水と森の番人が創る癒しの里」ゆたかな自然、お茶と温泉に彩られた、だれもが安心して暮らせるふるさとです。

成人式という節目のとき、あなたが生まれ育った「川根本町」という町の存在意義を感じていただきたいと思っています。

世の中はいろいろな体系や組織で動いていますが、基本は「人と人」の関係です。より多くの「出会いと対話」が、「自分の生きる方向」やそれを支えてくれる「仲間」をつくり、それがあなた自身をさらに成長させてくれると思います。

人間という字は、人の間と書きまします。人の間で生きるのが宿命です。その宿命を採り当てたとき、幸せ

になるといいます。

過ぎた時間を、あまだこうだと考えたり、まだ起きてもない未来のことに、不安をかきたてるのはやめて、今このときに、全力を注いでください。

江戸後期の佐藤一斎という人が、「二灯を提げて暗夜を行くに、暗夜をうれ憂ふるなかれ、ただ一灯を頼め」と言葉を残しています。人生には、真暗な夜道を一人行くようなこともあるかもしれないが、灯火を一つ手にしてさえいけば、闇がどれほど深かろうと心配することは無い。その一つの灯りとは、自らの志、自らの信念のこと。これをよりどころに歩めばいい」と言っています。

これからの長い人生。でも、たった一度しかない一生を本当に生かしていただきたい。

川根本町の人・歴史・文化・自然や景観を五感で感じながら、人生に誓い、信念をもってこれからの人生を歩み続ける新成人が一人でも多くと願っています。

これからも、時代の推移と地域に目を注ぎ、仲間や地域社会との関わりを大切にしながら、郷土川根本町の持続的発展のために、積極的な地域づくりへの参加を期待します。

故郷に錦を飾るより「故郷を錦で織り成す人」となっていたいただきたいと思えます。

平成20年1月13日

川根本町長 杉山嘉英

川根本町ホームページにも今年の成人式写真をたくさんアップしていますので、ぜひそちらもご覧ください。

広報かわねほんちょうでは広告主を募集しています。広告を希望される事業主の方は川根本町役場企画環境課広報担当までご連絡ください。広報かわねほんちょうではお便りを募集しています。おハガキ、ファックスなどお気軽にお寄せください。(みんなの広場ページ参照)